

# 農学部学習相談室（ピアサポート） 学生サポーターの体験談 ～第2号～

2023年度1学期もあと少し！試験が終わった後は、待ちに待った夏休みが始まりますね。



## 今回は学生サポーターさんによる必見の 「試験対策 と 夏休みの過ごし方」

をご紹介します。

ぜひ参考にしてみてください！



### ★ 手を動かしてみる ★

早いもので期末期末試験シーズンとなりました。独りで悩む前に、学習相談室をご活用ください。ここでは、試験対策を紹介します。まず、わずかな経験ではありますが、出題内容を振り返るとやはり、**先生方が授業中に熱を込めて説明されていた内容**がよく出ていました。そのため、授業に出席されている方は、メモしたノートを中心に勉強を進めてください。

次に、スライドの活用法は、ただ目を通すだけでなく、自分の手を使ってイラストや箇条書きで簡単にまとめることをオススメします。概要をイメージで把握しておけば、テスト当日に文章で再現できるはずです。

最後に、成績や単位は他人に見せる頑張った証になりますが、自分自身にとっては、その**「過程」が大切**ではないでしょうか。テスト前に限って面倒事は生じやすい。そのような難しい状況でも**「逃げずに頑張った」という経験を積み重ねることが重要**だと思います。ぜひ、テスト勉強を「逃げなかった記憶」にしてください。一緒に乗り切りましょう！（応用生物科学科 2年）

### ★ 情報収集は徹底的に ★

恥ずかしながら私はあまり要領が良くなかったので、試験をどうにか乗り切るために重要視していたのは、**計画性と情報収集**です。（今でも多少後悔がありますが...）まずは、数多くある授業の試験・レポートがいつ、どんな形式で行われるか必ず把握しましょう。自分で紙に書き出してみると時系列の流れも把握できるのでおすすめです。それにしたがって勉強を進めるのですが、授業でやった内容をすべて頭に入れるにはあまりに時間が足りません笑。そのため、**試験内容についての情報収集は徹底的に**しましょう。過去問や、出題形式、先生が時間をかけて話していたところ、授業中にとったノートやスライドにはヒントがいっぱいあります。

また、一人でじっと勉強するのも集中できると思いますが、ぜひ**友達とテスト内容について話したり情報共有**をしてみてください。口に出すことで自分の知識が定着したり、友達からの知識でその単元に対する理解が深まったりします。学習相談室でもテストのヒントをあげることができるので、困ったらず活用してみてくださいね。（応用生物科学科 2年）

### ★ 先生にどんどん聞いてみる ★

夏休みが待ち遠しいこの頃、皆さまにおかれましては期末テスト・レポートに励んでいることと思われます。おそらく他のサポーター様が、期末試験等への臨み方等について述べていると思うため、私は少し趣向を変えて**先生に聞くこと**についてお話ししたいと思います。

経験的に知っている方もいるでしょうが、いくつかのテストではメモなど持ち込みが可能なケースがあったり、レポートにおいても形式が事細かに決まっているケースもあつたりします。

また、過去問が欲しいときにも先生に聞いてみると、もらえる場合もあるかもしれません。先生にしっかりと確認することでこのような情報がもらえることもあります。**分からないことがある場合、疑問に思うことがある場合**など、来るべき試験・提出の前に先生に事細かに確認してみたいかがでしょうか。

（地域生態システム学科 4年）

## ★ 地方の長期インターン・ボランティアは1-3年生のうち！ ★

授業や課題のない1-2ヶ月の休みは、1-3年生のみです。色々な場所に旅をして、視野を広げることをおすすめします。旅というと、観光や自然を見に行くといったことを思い浮かべがちですが、それに留まらず、農学部勉強を生かしたり、様々な人と交流したり、色々な仕事を知るなど、**新しい世界を探せるような旅**があります。持続可能な農業・畜産・漁業や昔ながらの暮らし、新しい産業など、大学で学んだこと(農業だけじゃないです!!)が生きよう、興味深い活動をしている人が各地にいます。その中にしばしば学生の長期インターンやボランティア、アルバイト(宿つきも多い)を募集しているところがあります。是非そういった活動に飛び込んで、**普段と違う世界**を味わってみてはいかがでしょうか？そういった活動を探すためのサイト、「おてつたび」「WWOOF」「activo」などを使って探すもよし、知っていそうな人に聞いてみるもよし。実は色々な可能性にあふれています。私もいくつか知っていることはあるので、気になった方は、相談室またはメール相談にて！

(自然環境資源コース M1)

## ★ 視野を広げよう ★

「自分は何に興味があるの？」私が研究室の教授に言われてハッとした言葉です。どうしても教授の話聞くだけの大学の授業では受動的になりがちで、私はいつしか自分の興味が分からなくなっていました。皆さんも遠くない将来に就活をすると思いますが、その時に興味が分からないと途方に暮れてしまいます。

これを防ぐためには、**自分の世界を広げる・視野を広くする**ことがなによりも重要です。人は自分の知っている物の中からは判断できないので、**人生の選択肢を増やすには知識を増やす**ことが大切です。年間計4か月もある長期休みは、自分の知らないことや未経験のことに挑戦する絶好の機会です。挑戦して失敗したくない...という不安もあるかもしれませんが、むしろ失敗するべきです。その方が糧になりますし、学生の今だからこそ許されます。

出来ないことに気付くのも勉強です。あまり恐れすぎずに、色々な世界に顔を突っ込んでみてはいかがでしょうか。(共同獣医学科 5年)

## ★ 休みを楽しむ ★

ご存じのように、大学生の夏休みは約2ヶ月と非常に長いので、いわゆる“夏休みの宿題”もありません。しかし、この長期休みをただ家でダラダラするだけで終わらせることは非常にもったいないです

(もちろん休むことも重要ですが)。夏休みの時間の使い方は人それぞれだと思います。自分のやりたい勉強をしてみたり、自動車免許を取ったり、サークルやバイトに打ち込んだり、旅行をしたり、友達と遊んだり...と、色々なことができるかと思います。重要なことは、**多くの講義を受けながらではやれないことをやる**、ということです。たくさんある時間で普段できない経験をするのは、皆さんにとってとても良い経験になると思います。皆さんが濃い夏休みを過ごし、成長できることを祈っています。**夏休み、楽しんで！**

(生物生産科学コース M1)

## ★ 全力で満喫しよう ★

テスト前、レポート提出が迫ってやることいっぱいの皆さんは、もうすぐ夏休みだ！あれもしよう、これもしよう！と考えているのではないのでしょうか。2ヶ月という長い休みですが、**気を抜くとあっという間に終わってしまいます**。バイトやサークルなどは予定として決まっているから参加するけど、他の日はゴロゴロしているだけ...となってしまうのもったいない！早いうちに予定や計画を立てて、有意義に過ごしてほしいと思います。毎日ちょっとずつ本を読むとか、筋トレをするとか、**何か目標を決めて達成できると**、2ヶ月後には変わった自分に出会えるかもしれません。大学院生になった今、ちゃんとした夏休みはないので皆さんが羨ましい限りですが、全力で満喫してくれるといいなと思います！

(地球社会学コース M1)

**2023年度後期は、10月から開室予定です。  
多くのご相談をお待ちしています！**

前期は残り  
7/12・7/19  
の開室です